

科目名	社会福祉援助技術実習指導Ⅱ				開講 キャンパス	神 埼
担当者	江口 賀子・岡部由紀夫・木場 千春・中山 正教・松尾 孝一 倉田 康路・滝口 真					
開講年次	3・4	開講期	前期	単位数	2	必修・選択 選 択
授業の概要 及びねらい	本授業は社会福祉援助実習の事前教育として、学生が実習先に関する知識を高め、実習生としての基本的態度を身に付けられるよう指導する。また、実習目標の作成や事前手続きへのグループ・個別指導を行い、学生の実習に対する意欲の向上を図る。					
授 業 の 到達目標	1) 配属実習施設・機関の目的・基礎知識を得る。 2) 社会福祉専門職の役割を理解し、説明できる。 3) 社会福祉専門職として仕事をする上で必要な、専門知識、専門援助技術、関連知識の理解を深める 4) 実習生に求められる姿勢や態度、留意点を理解し実行できる。 5) 実習で学びたい点を明確にし、実習目標が立案できる。 6) 実習活動について、具体的なイメージを持ち、意欲を高める 7) 実習準備を通して、自身の課題を予測し対応策について考える。					
学習方法	講義（外部実践講義含む）、小グループ、個別指導など					
テキスト及び参考書等	テキストは特に指定しない。適宜、資料を配布する。					
評価基準・方法	到達目標					評価割合%
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現		
定期試験						
小テスト等						
宿題・授業外レポート	○	○	◎	○	40	
授業態度	○	○	◎		60	
受講者の発表						
授業への参加度						
その他						
合 計					100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)						
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）						
第 1 週	前期オリエンテーション					
第 2 週	配属実習に必要な態度、注意点（基本的態度）					
第 3 週	配属実習に必要な態度、注意点（実習生に求められる態度・姿勢について）					
第 4 週	配属実習に必要な態度、注意点（文章の記入方法について）					
第 5 週	外部実践講師による講義（レポート課題）					
第 6 週	実習先各分野による小グループでの事前指導①					
第 7 週	実習先各分野による小グループでの事前指導②					
第 8 週	実習先各分野による小グループでの事前指導③					
第 9 週	実習先各分野による小グループでの事前指導④					
第 10 週	実習先における個人のプライバシーの保護と守秘義務等の理解（個人情報保護法の理解を含む）					
第 11 週	「実習日誌」への記録内容及び記録方法に関する理解①					
第 12 週	「実習日誌」への記録内容及び記録方法に関する理解②					
第 13 週	実習計画の作成①					
第 14 週	実習計画の作成②					
第 15 週	実習計画の作成③（清書提出）					
第 16 週						
備 考	【授業外の学習】 ・配布資料等はファイル等にまとめ、講義等で活用できるように整理すること。また、課題等は期限内に提出できるよう、積極的に取り組むこと。 【その他】 ・本授業の受講は、「社会福祉援助技術実習指導Ⅰ」を既に履修したものに限る。 ・本授業は、相談援助実習Ⅳと併行して受講すること。 ・出席回数が増えるに満たない、または、課題「学習目標」が期限内までに完成されない場合は、本科目の評価を行わない。					